

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名 (                      ローゼルこどもDayさぼーとIII                      )

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			必要な広さ以上に訓練室を設けている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			2人以上の指導員、児童発達管理責任者1人配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		訓練室はバリアフリー化されている。 トイレの数cmの段差はマットを用いる。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			新年度に向けて目標を立て実行するために方法を決めて半年に一度見直ししている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向け評価表を年に一度、7月に行っている。
	⑥	この自己評価表を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			評価する部署、別の事業所や法人の方に評価して頂き改善するように取り組んでいる。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内・地域の研修に定期的に参加している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的にあセスメントを行いサービス計画書を作成する際はスタッフを交えて会議を開き計画書の質の向上を図っている。 えいふるモードの活用、定期的なモニタリング、保護者や学校からの情報を受けている。事業所では定期的な子どもの成長記録を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			えいふるモードの活用、定期的なモニタリング、保護者や学校からの情報を受けている。事業所では定期的な子どもの成長記録を作成している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			プログラム立案担当を中心に内容を職員全員で検討し改善後、実施している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			月ごとにプログラム立案担当を代え、平日、土・祝日で内容を変えている。 夏はプール活動を中心として体を動かしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			運動・学習プログラムを行った後の自由時間を楽しみ、土・祝日や長期休暇の際に地域の清掃も行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの特性、ニーズに合わせて個別活動や集団活動を組み合わせ計画書を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援開始前に3分ブリーフィングを実施している。必要に応じて時間を取り、ミーティングを行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			スタッフ間で情報共有できるように申し送りノートを作成し記録に残して、各自が確認後サインするようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			連絡帳、ステップ記録等を元にミーティングを行い支援の質の向上に取り組んでいる。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			計画書作成のおよ1か月前にモニタリングを行い計画書の更新を行っている。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			子どもの最善の利益を中心に自分で出来る事を増やし自立支援と日々の生活が楽しくリラックスした時間を過ごせるように努めている。	
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者、児童発達管理責任者、必要に応じて最も関わりのある指導員も参加している。	
		学校との情報共有(年間計画・行事予定等の)				

関係機関や保護者との連携	⑲	子連れ情報交換(送迎時の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等連絡体制を整えているか	○			
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		該当する利用者が出ていないため、実例はないが移行する場合の体制は整えてある。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関を連携し、助言や研修を受けているか	○			
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		公園に行った際に、他の子どもと同じ遊具で遊ぶことがある。
	㉕	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○			
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		今後、音楽発表会、運動会などを開催して地域住民にも開かれた運営を検討する。
非常時等の対応	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応しているか	○			
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	○			
	㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			